

平成21年9月14日

各位

上場会社名 リオン株式会社
 代表者 代表取締役社長 井上清恒
 (コード番号 6823)
 問合せ先責任者 執行役員管理統括部長 山根昇
 (TEL 042-359-7099)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月1日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,930	200	150	70	6.68
今回発表予想(B)	7,400	80	40	0	—
増減額(B-A)	△530	△120	△110	△70	
増減率(%)	△6.7	△60.0	△73.3	△100.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	8,801	220	157	△147	△14.08

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,420	610	500	240	22.91
今回発表予想(B)	15,300	240	200	100	9.55
増減額(B-A)	△1,120	△370	△300	△140	
増減率(%)	△6.8	△60.7	△60.0	△58.3	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	17,077	404	286	△514	△49.18

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,400	70	60	30	2.86
今回発表予想(B)	5,880	40	40	10	0.95
増減額(B-A)	△520	△30	△20	△20	
増減率(%)	△8.1	△42.9	△33.3	△66.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	7,326	96	76	△171	△16.43

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,300	230	200	100	9.55
今回発表予想(B)	12,150	130	120	30	2.86
増減額(B-A)	△1,150	△100	△80	△70	
増減率(%)	△8.6	△43.5	△40.0	△70.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	14,038	132	94	△380	△36.38

修正の理由

補聴器事業では、消費者の購買マインドの冷え込みにより、通期の売上高が前回予想を若干下回るものと見込んでおりますが、営業利益では経費節減等の効果により、前回予想を上回る見通しであります。

医用検査機器事業では、潜在需要はあるものの、景気の影響を受け、医療機関の設備投資が抑えられ、通期の売上高及び営業利益は、前回予想を下回る見通しであります。

音響・振動計測器事業では、航空機騒音に関わる官公庁関連市場が堅調に推移するものと予測しております。しかし、民間市場においては設備投資の抑制が続くものと予測しており、通期の売上高及び営業利益は、前回予想を下回る見通しであります。

微粒子計測器事業では、半導体の需要が想定以上に回復しているという報道もありますが、設備投資に対する慎重姿勢は続いており、当分厳しい状況が続くものと予想しております。このため、通期の売上高及び営業利益は、前回予想を下回る見通しであります。

なお、年間配当金につきましては、期初の予想どおり、1株当たり15.00円を予定しております。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報にもとづき算出したものであり、実際の業績はさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上